

# 八王子で安心して暮らしていくために ～生協でつながる地域づくり～

日時：10月9日（水）

13：30～15：30

会場：八王子クリエイトホール視聴覚室

参加人数：40名

主催：東京都生協連

八王子生協交流会

## 開会あいさつ



東京都生協連  
秋山部長

今八王子の生協のネットワークをつくっていかうとしている。急速な高齢化に対応するためにも、社協の力もお借りして地域のつながりをどう作っていくか学び合っていきたい。さらに住みやすい八王子になるよう一緒に手をとり合っていきましょう。

## 「地域での社協の役割と地域支援について」

地域福祉とは、地域の人と人とのつながりを大切にし、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みを「地域ぐるみ」でつくっていくこと。自助、公助、共助の仕組みづくりである。

八王子社協の地域支援では「いきいきプラン八王子」として7つの地域推進計画を持ち、進めている。その中の一つのサロン活動では立ち上げや継続の相談や助言、経費補助もしている。サロンは見守りや介護予防、孤立化の防止につながっている。

今後は、地域での虐待・孤立化の防止、社会的弱者の支援、災害時の要援護者支援に重点的に取り組み、見守り活動の充実をはかっていく。



八王子社協  
横内昭人さん

## 「地域でサロンを立ち上げて」

コープみらいサポータークラブ門井禮子さん



高齢者が気軽に立ち寄れる場所として、生協の力を動員してサロンを立ち上げたいと思い、取組んできました。南大沢では組合員の提案で、団地の中に社協や地域と協力して立ち上げ、地域の方たちが楽しんで参加しています。

サロン成功の秘訣は参加者をお客様にしないことです。参加者の持っているスキルを活かして力を発揮してもらうことが大切です。人の役に立つことは幸せだと思います。地域の方たちの力を引き出してサロンを作ってみましょう。

八王子市内は5つの地域生協と1つの医療生協があります。市内の生協が連携して生協の力を発揮し、地域づくりに向けて何かできないかという思いで学習・意見交換会を企画しました。

学習①「地域での社協の役割と地域支援について」を八王子社会福祉協議会の横内昭人さんより、②「地域包括支援の視点から」を八王子保健生協専務の大久保孝彦さんよりお話いただき、実践報告として、「地域でサロンを立ち上げて」をコープみらいサポータークラブの門井禮子さんより報告いただきました。

その後の意見交換会では、参加者から感想や意見を出し合い、生協でつながる地域づくりについて考え合いました。



## 「地域包括支援の視点から」

八王子保健生協  
大久保孝彦専務



地域包括ケアとは医療・介護・生活支援・保健予防サービスが切れ目なく提供できる地域での体制であり、住み慣れた地域で暮らし続けていくためには必要なものである。2025年には団塊の世代が75歳以上となり超高齢者社会が到来し、八王子は特にその動きが顕著な地域となる。そこに向けて医療や介護制度の見直しが行われるが入院期間が短縮され、介護期が長くなり介護給付も削られ、今以上に自助と互助が求められることになる。「互助」の組織である生協への期待は増している。「遠くの親戚より近くの生協」をめざして、生活支援活動も進めていけたらよい。八王子保健生協も元気な時から介護期、終末期までさまざまな活動で支え続けたいと思っている。

## 意見交換会～アンケートまとめ

意見交換会では各生協から、これからの活動の中でできる地域のつながりへの期待や、まだ不足している情報交換や共有の課題、互いの連携の必要性などの意見がありました。また、社協と協力し、医療生協がある強みや各生協の特長を活かし、生協の力を発揮した地域づくりができるのではないかの思いがそれぞれ語られました。

アンケートからも今回の学習と報告が参考になったという意見が多く、地域活動や互助の大切さを感じた方が多かったようです。社協の活動を生協の活動と重ねて捉えた方もあり、八王子保健生協のお話から高齢化社会への危機感を持ち、勉強になったという声もありました。地域サロンへの関心も寄せられ、これらのつながりが今後の地域づくりの鍵になるかと思われました。